

# 2

## 「働く」って どんなこと？

みなさんの中には、アルバイト経験のある人も多いでしょう。しかし、社会人として働くことはアルバイトとは異なります。「とりあえず就職できれば」と思っている人も、ここで一度「働く」ことについて考えてみましょう。

### 1 お金や時間以外に得られるもの

企業で働き始めると、給与をもらい、これまで以上に自分の欲しいものや時間を手に入れることが可能になります。もちろんそれも重要なことですが、人生はそれだけではありません。

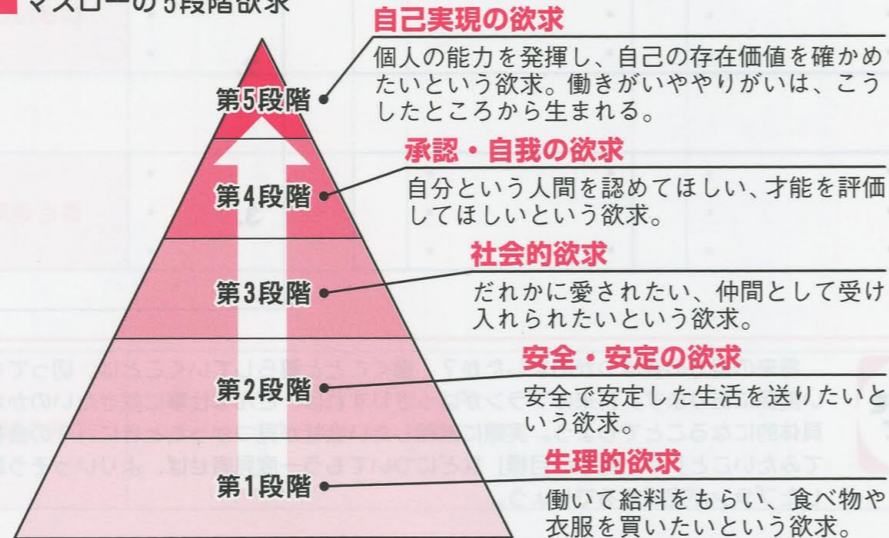
社会で働き始めることは、将来の夢ややりたいことを実現するための入り口でもあります。自分の発揮する能力が、社会に求められ、そこに自分の働きがい・生きがいを見つける

こと（自己実現）は、かけがえのないことです。

#### マズローの5段階欲求

アメリカの心理学者・マズローは、人間の欲求を5つの段階に分けて説明しました。人間は第一段階の欲求（生理的欲求）が実現すれば、より高次の欲求を満たそうとするものだということを示す理論です。

#### ■ マズローの5段階欲求



アブラハム・マズロー (A.H.Maslow/1908~70)  
「人間性心理学」の創始者。

### 2 自分の能力を最大限に発揮しよう

世の中には大企業だけでなく、世界で活躍する中小企業もたくさんあります。企業名やブランドイメージにとらわれず、自分の能力を活かして、存分に活躍できる企業を選びましょう。

企業は、豊かな経験と技術、知識を持ったプロの集まりです。わからないことは、先輩や同僚たちから積極的に学びましょう。ビジネスマナーや社会人としての言葉遣い、トラブルへの対処法などを学ぶことで人間としての成長が可能になります。

自分の好きな仕事がしたい、というのは誰もが考えることです。しかし、好きだからといって必ずしもそれが仕事に向いているとは限りません。

逆に、当初は向いていないと感じていた仕事も、続けているうちに楽しいものになることもあります。

仕事を選ぶ際には、自分の性格、「何に向いているか」など自分の特性や弱点などの理解を深めながら進めるとよいでしょう。

### 企業が求める「専門学校生像」とは

——企業は即戦力を求めている——

リーマン・ショック<sup>\*</sup>以降、多くの企業が新入社員の研修にかかる費用や時間を減らす傾向にあります。そのため、入社してから短期間で戦力となる人材を採用する傾向も強まっています。

そうした中、基礎的な技術や専門知識を学んだ専門学校生への期待は高まっています。企業によっては資格を持っているかどうか重要な基準となっている場合もあります。国家資格を持っていないと従事できない職種もあるので、資格取得を心がけましょう。

#### 人事管理の変化とキャリアプラン

1960年代の高度経済成長期には優秀な人材を確保するため会社が寮などの生活環境を整え、社員教育や定年まで働き続けることができる制度を確立してきました。

しかし、バブル経済崩壊<sup>\*</sup>後、これらの制度の見直しが進みました。それが「終身雇用・年功序列主義」人事管理から「成果・能力主義」人事管理への変化です。

社員が経験と実績を積みあげれば給与も自動的にアップするという制度から、社員の成果や能力により、待遇を会社が評価しようという流れになってきています。

だからこそ、みなさんのキャリアプラン（将来のための自分の望む働き方）を今から考えていく準備をしておいてほしいのです。

#### 〈用語解説〉

- ・終身雇用 雇用されてから定年まで雇用関係が継続する形態
- ・年功序列 勤続年数や年齢により、会社内での地位や賃金が決まる
- ・成果・能力主義 賃金や昇進（ベースアップ）などを個人の成果や能力によって評価決定しようという考え方

※リーマン・ショック：アメリカの大手証券会社、リーマン・ブラザーズの経営破綻（2008年9月15日）を機に、世界的金融危機（世界同時不況）が広がったことを指す表現。リーマン・ショック後、各国政府は個人消費を刺激する経済政策を相次いで採用した。

※バブル経済崩壊：実体経済から大幅にかけ離れて上昇する経済状況から急落すること。



